

研究テーマ	グローバル社会ウォッチング	担当者名	所 康弘
担当科目	経済学入門、貿易論Ⅰ・Ⅱ	募集人数	14名
先修科目	研究ⅠA・B 研究ⅡA・B 卒業研究A・B	・・・	研究基礎A・B 研究ⅠA・B 研究ⅡA・B
講義内容	<p>グローバル化する社会で、また、東日本大震災の影響に苦しむ日本で、いま何が起きているのか？ いかなる理由で起きているのか？</p> <p>グローバル化によって、いまや私たちの社会や暮らしは世界と強くむすびついています。あらゆる国際情勢の変化は、そのまま日本の、私たちの将来にかかわってきます。</p> <p>本ゼミの目的は、①グローバル社会の基礎を理解する、②その理解を通じて、私たちの国や社会、文化をあらためて見直す、ことです。</p>		
講義の到達目標	商経学部の学生として知っておいてもらいたい、グローバル化に関する基本知識の習得をめざします。		
準備学習等の指示	なぜ、何のために、商経学部に進学し、ゼミを受講するのか？ 問題意識をもってゼミに参加してほしいです。		
研究の概要・授業計画	<p>【研究ⅠA・B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ円高が大きなニュースになるのか、それが日本企業に与える影響は？ ・なぜ中国は「世界の工場」となったのか？ ・いま話題のTPPとは、何か？ ・そもそも「グローバル化」とは、どういうことか？ ・つぎのW杯とオリンピックが開催されるブラジルは、どんな国か？ <p>これらは一例です。その時どきの話題・トピックをあつかいます。</p> <p>「グローバル社会」を考えることで企業経営や貿易、金融、そして国際情勢など、さまざまな商学・経済・国際系の分野に幅ひろく触れます。</p> <p>【研究ⅡA・B】</p> <p>研究Ⅰに引きつづき、基礎を学びます。</p> <p>秋学期以降は、個々の自由テーマ発表をおこないます。昨年のおもな発表テーマは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本のK-Popブームと韓国音楽市場」、 ・「貧困—もし世界が100人の村だったら—」、 ・「外国人ツアー客と日本の世界遺産」、 ・「グローバル化するサッカービジネス—欧州リーグ」、etc <p>なお、昨年度は希望者とともに、中国上海市で観光もかねてスタディーツアーを実施しました。</p> <p>【卒業研究A・B】</p> <p>各自で卒業論文をまとめます。</p> <p>なお、昨年度は希望者とともに、東北被災地で震災ボランティアを実施しました。</p>		
評価方法	ゼミへの参加と課題発表などで、総合的に評価します。 また、ゼミ生同士の交流をふかめるため、ゼミ行事(年一度のBBQ大会、ボーリング大会、合宿(沖縄など)、スカイツリー・下町ツアーなど)への積極的な参加を希望します。		
履修上の注意	質問があるときは、メールをください(ytokoro@cuc.ac.jp)。 履修登録を迷っていて、話だけでも聞きたいという学生は、研究館6階R605へ立ち寄ってください。(事前にメールをください)。出校日は、月・水・金です。 ゼミの雰囲気を知りたい場合は、金曜3限(523教室)・4限(646教室)の演習日に参観してください。		
教科書	開始時に全員で話しあってきめます。		
参考文献	そのつど授業中に紹介します。		